

青森県生協連「2015年度組合員活動リーダー研修交流会」

1. 日時 2016年3月1日(火) 10:45~14:00

2. 場所 青森県観光物産館アスパム4F奥入瀬

3. 参加 57名

コープあおもり(19名) 青森県民生協(23名) 津軽保健生協(3名) 青森保健生協(5名) 青森県庁消費生協(2名) 青森県生協連(4名) 講師(1名)

4. 当日プログラム

<司会：県生協連常務理事 小野寺静子>

10:45~10:50	開会あいさつ(県生協連会長 平野 了三)
10:50~12:00	講演：「TPP協定と食の安全」 講師：須藤 宏 氏 食と農を守る青森の会 事務局長
12:00~12:15	質疑
12:15~13:00	昼食休憩
13:00~13:45	グループ交流・交流
13:45~14:00	大見理事長からの返答
14:00~14:10	まとめと閉会の挨拶(県生協連常務理事 小野寺静子)

- ・3月1日(火)、アスパムにおいて「2015年度組合員活動リーダー研修交流会」を開催し、県内の生協から57名の役職員が参加しました。
- ・平野会長の挨拶に続き須藤氏よりお話いただきました。昨年10月に「大筋合意」したTPP協定(環太平洋経済連携協定)は30章からなる協定で、関税だけでなく食の安全、医療・保険、雇用など国民生活全般や地域経済に係るルールが変更されることになるのに、政府はその中身を明らかにしていないことを前置きしつつ、入手した数千ページの協定(書)から読み取れる様々な問題点、例えば「関税撤廃時期の繰り上げの仕組み」、「7年後の全面的見直し協議の約束」「農業貿易に関する小委員会の設置」「TPP委員会の設置」等を説明しました。さらに、「遺伝子組み換え農産物の貿易が安全性を無視して拡大する危険性」や「農産物セーフガード発動の権利が奪われる危険性」や「追いつかない食品検査・検疫体制」・「牛成長ホルモン」など、今後懸念されることについてそれぞれ解説いただきました。
- ・午後は八つのグループにわかれて「講演についての感想」「今後取り組んでみたいこと」をおしゃべりし、内容を発表し合いました。講演は少し難しかったものの、「政府が如何に明らかにしていないことがわかった」「今後、ニュースに気を付けていきたい」「表示に気を付けていきたい」などの感想が出されました。
- ・定刻に至り、県生協連 小野寺常務のまとめと閉会の挨拶をもって終了となりました。



講演中の須藤事務局長



参加者の皆さん



おしゃべりの発表の様子